

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型重症児デイサービス Cuole城南		
○保護者評価実施期間	R7年2月1日		～ R7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	R7年2月1日		～ R7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多機能型としての定員7名に対し、人員配置を十分に行い、充実した支援を行える様取り組んでいる。	多機能型にすることにより児童発達支援から放課後等サービスの継続した利用(支援)が可能となることで、長期的に同じ環境で過ごして頂くことを可能としている。通常は午前、午後で児童発達支援と放課後の利用に分かれるため、十分な職員配置となり手厚い介入を可能としている。	同時に利用人数が多くなる長期休暇利用においても、1日のプログラムの工夫を行うことで、充実した支援内容の提供を行えるよう工夫していく。
2	各専門職が揃っていることで、重症児及び医療的ケア児の方も安心してご利用いただく事ができる。専門的な視点での支援目標設定、支援内容検討、その実施に向けて各専門職の介入を中心に多職種連携で支援を行なっている。	医療職である看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、福祉職である保育士、児童指導員を配置しており、各専門職の専門分野に特化した見解、介入を行う事ができる。多職種の連携により、本人にとって最も有効と思われる支援内容の提供を工夫しながら行なっていくよう取り組んでいる。	これまで以上に各専門職の知識や見解を出し合いながら評価、検討、プランの見直しを行い、連携の効果をさらに発揮し支援に活かしていけるよう意識を高めていく。
3	Cruto group全体での連携体制が出来ており、臨時的な対応を可能としていたり、各サービスの連携がよりスムーズとなるため情報共有を有効に行う事ができる。同テナント内の保育園との交流や連携、訪問看護事業所とも緊急時の臨時体制がより強化されている。	訪問看護との併用の方においては、必要に応じて情報共有をシステム上でも可能としている。職員の兼務体制を整えており、利用受け入れに影響を及ぼす事がないよう体制を工夫している。	情報共有を日頃より行うことで、連携が取りやすくなるため、システムを十分に活用していけるよう取り組む。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援が不十分であること。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援がなされていないこと。	各ご家庭の予定に合わせての開催を検討していたこと、感染症流行を回避しての時期決定において、日程調整の困難さより企画できないままとなっていた。	保護者会(茶話会)開催に向けてご希望の内容、日程をお伺いしていく。日程はご希望に添えないこともあると予測されますが、可能な範囲で参加を募っていく予定。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていないこと。	希望調査より未実施となっていたため、企画できていなかった。	上記と同様、ご意見伺いを行う。ご希望あればご家族等も参加できる企画を行う。
3	きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられていなかったこと。	各ご家庭の予定に合わせての開催を検討していたこと、感染症流行を回避しての時期決定において、日程調整の困難さより企画できないままとなっていた。	保護者様のみに限らず、ご兄弟同士の交流のイベント企画を行い、交流できる機会を設けていく。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		多機能型重症児デイサービス Cuole城南						
		公表日 R7年 3月 12日						
		利用児童数			回収数			
		7			7			
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	2			様々な活動が出来るスペースが確保されている。中の状況が見えにくいため評価が難しい。	支援スペースや支援内容を是非見ていただきたいと思います。お時間あられる際にも見学希望等お申し出ください。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6			1	マンツーマンで対応して頂いている。	専門職を中心とした基準人員に加え、加算要因の人員配置も行ってあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	1		1	バリアフリーで車椅子や歩行器が使用できる。	生活空間、環境設置は常時見直しながら適切に行っております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	1			綺麗で様々な活動が出来るように整理されている。	毎日清掃、整理整頓し、個々と良い空間づくりを心がけています。
適切な 支援 の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7				専門職が配置されており専門性が高い。	看護師、理学療法士、作業療法士（兼務）、言語聴覚士（兼務）、保育士、障がい福祉経験者等、専門性を活かした支援に力を入れております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	1			事前の説明と実際の提供内容が同じ。	計画内容、支援の方向性の統一を図り、日頃の支援に当たっております。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7				子の状態に合わせて作成され、毎回きちんと説明がある。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7				具体的に記載されている。	ガイドラインに沿って作成し、可能な限り具体的に個々の目標設定、支援内容を設定しております。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7				毎回説明時に振り返りがあり、きちんと計画に沿っている。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5			2	様々なプログラムがあり、本人も楽しそう。	保育士、児童指導員中心に活動プログラムを企画、準備し、季節に応じた内容、また新たな活動の取り入れを意識しております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1			隣のコロナ保育園のイベントに参加している。	隣接するコロナ保育園との交流を行っております。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7				わかりやすく説明があった。	ご契約時、また必要時にご説明させていただいております。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7				毎回丁寧な説明がある。	作成、更新時時には、お時間を設けて頂き、ご説明させて頂いております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4			3	関わり方のアドバイスがある。研修会等は特にはない。	ご家族と共に学ぶ時間を設けられるよう、検討させて頂きます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	7				必要時、こまめにやり取りがあり、共有できたように感じる。	いつでもお話しができる様なご対応を心がけております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7				必要時に行なっていただいた。	力不足ではありますが、ご支援できることはご対応させて頂きたいです。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7				一緒に考え、寄り添ってくれていると感じた。	寄り添うご支援を心がけていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	1	4	子や家庭によって状況が異なるため難しいと思うが、保護者同士の交流の機会があれば良いと感じた。	保護者会や茶話会等を開催し、保護者様のつながりや、子育て等のご相談等ができる機会を設けていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5			2	相談等がある際にはすぐに面談を設けて下さったし、言いやすい雰囲気であった。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7				直接お話しできるし、LINEや電話、連絡帳でやり取りができた。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6			1	毎日Instagramで活動内容をアップして下さりありがたかった。	月一のCuole便り、日々のInstagram、自己評価結果はホームページ掲載、書面にて保護者様へ提示させて頂いています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6			1	写真掲載等、事前に同意書を取り、十分留意されていた。	SNSやお便り等では名前等の情報が公開されぬよう配慮し、その他個人情報など書類関係においても安全な保管に留意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			3	訓練されていた。	各マニュアルや対応の周知徹底を図っております。保護者様への細やかな説明は必要に応じて行ってまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			3	訓練していた。	定期的に避難訓練、消化訓練等実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			1	契約時に説明があった。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7				必要な事があればすぐに連絡があった。	怪我や急変等あった際には、ご連絡し迅速な対応に心がけております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7				先生方が大好きで信頼しており、安心して通えている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7				毎日楽しく通っている。「楽しい」と言っているし、写真や連絡帳からも伝わってくる。通所の朝は「今日は何するんだろう」とワクワクして通っている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				非常に満足している。Cuoleに通って本当に良かったと感じている。支援には満足。お迎え時間の調整が可能であれば助かる。	年齢や体調を踏まえ、また放課後等デイサービス利用との兼ね合いでお迎え時刻を決定させて頂いております。しかし、都度ご相談いただければ、可能な範囲でご対応検討させて頂きます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型重症児デイサービス Cuole城南		公表日		R7年 3月 12日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		必要なスペースを確保しており、使用用途毎に環境設定行っております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		基準人員に加え、加算要因の人員配置も行なっております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		生活空間、環境設置は常時見直ししながら適切に行っております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日清掃、整理整頓し、個々と良い空間づくりを心がけています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		設定可能となっております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		職員間で情報共有、検討会を行う時間が取れるよう努力しております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		ご意見を全職員で把握し、対応の見直しを行いながら改善に心がけております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		個別面談や週ミーティングにて常に意見や情報の交換、検討を行っております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		今後、必要時に検討いたします。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		外部研修に参加し、事業所にて伝達講習を実施、全職員の資質向上、スキルアップを図っています。		
適切な 支援の 提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		作成し、当事業所ホームページに公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		定期的または必要時に評価を行い、支援計画の作成を行っております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		計画内容、支援の方向性の統一を図り、日頃の支援に当たっております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		ガイドラインに沿って作成し、可能な限り具体的に個々の目標設定、支援内容を設定しております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		保育士、児童指導員中心に職員間で意見を代合いながら活動プログラムを企画、準備しております。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		保育士、児童指導員中心に活動プログラムを企画、準備し、季節に応じた内容、また新たな活動の取り入れを意識し行っています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		集団活動、個別活動を日々取り入れ、支援に当たっております。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼時に情報共有、グループ連絡ツールや申し送りノート、必要時には日々の記録の確認を行い、支援に臨んでいます。会議の中で支援内容の検討も行っていることでもあります。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		個々の記録に記入、共有事項はグループ連絡ツールや申し送りノートを使用し共有し心がけています。会議の中で課題提供も行っております。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		毎日、詳細な記録を行い、経過の確認、今後の支援に活かせるよう心がけております。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		必要時には職員間でモニタリングを行い、見直し、適切に対応できるよう取り組んでいます。		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		直接支援者及び児童発達支援管理責任者が会議へ参加しております。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		毎月、主治医及び担当相談員へ、利用報告書を作成し、現在の利用状況を情報提供させて頂いております。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8				

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		情報提供、情報共有を密に行い、スムーズな就学となるよう取り組んでおります。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会なども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	8			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8		隣接するコロナ保育園との交流を行っております。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時に体調確認、利用状況の報告を行い、安心して過ごす事ができるよう心がけています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6		ご家族と共に学ぶ機会を設けていけるよう、企画していきたいと考えております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		ご契約時、また必要時にご説明させていただいております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		定期的に面談をさせて頂いたり、利用の際にお話しさせて頂き、ご本人やご家族のご意向をお伺いしております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		作成、更新時時には、お時間を設けさせて頂き、ご説明させて頂いております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		いつでもお話しができる様なご対応を心がけております。	不十分どころも多々あると思いますが、よりお話ししやすい環境づくりに努めていきたいと考えております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		8		今年度、実施できませんでしたが、来年度は保護者様同士で交流していただける機会を設けるために、茶話会を企画致します。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		可能な限り、ご対応させて頂きました。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		SNSやお便り等では名前等の情報が公開されぬよう配慮し、その他個人情報など書類関係においても安全な保管に留意しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		ご契約時に基本情報として情報収集しております。またご提供はご持参されている食べ物、飲み物に留めております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		事例が起きた際は報告、対策の周知徹底を図っております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止委員会を設置し、研修会及び委員会を実施しています。外部研修受講後は事業内で伝達講習を行っております。	
53	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	8		虐待防止委員会を設置し、研修会及び委員会を実施しています。外部研修受講後は事業内で伝達講習を行っております。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		支援内容について該当する際は、細やかな説明と承認を得て対応を行っております。		